

## 令和5年度 第6回赤磐市教育委員会定例会議事録

- 1 開会日時 令和5年9月21日(木) 午後3時00分
- 2 閉会時間 午後3時30分
- 3 会議場所 赤磐市立中央図書館 1階 ボランティア室
- 4 出席委員 教 育 長 坪 井 秀 樹  
教育長職務代理者 大 崎 陽 二  
委 員 山 本 賢 昌  
委 員 平 松 由 香  
委 員 遠 藤 益 恵
- 5 説明者 教 育 次 長 入 矢 五和夫  
教育総務課長 西 崎 雅 彦  
学校教育課長 森 本 治  
社会教育課長 大 月 美 佳  
中央公民館長  
中央図書館長 森 本 一 也  
中央学校給食センター所長 矢 部 寿
- 6 書 記 教 育 総 務 課 長 卯 善 幸 子  
副 参 事

## 議 事

### 1 教育長等の報告

公 開 教育長の報告について

公 開 令和5年10月の教育委員会行事予定について

### 2 その他

公 開 次回定例会開催日について

○坪井教育長 ただいま定刻の午後3時となりました。

出席委員が定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

これより令和5年度第6回赤磐市教育委員会定例会を開会します。

本会の議事録に署名する委員として、遠藤委員を指名します。

本会の議事録作成の職員として、教育総務課卯善副参事を指名します。

前々回、令和5年7月25日開催の令和5年度第4回教育委員会定例会の議事録につきましてはお目通しをいただき、ご異議等がなければご承認をいただきたいと思います、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○坪井教育長 それでは、令和5年度第4回教育委員会定例会の議事録については、ご承認をいただいたということで取扱いをしてください。

続きまして、議事に移りますが、本日の会議に付議された案件は、（1）教育長等の報告、（2）その他についてです。

それでは、（1）教育長等の報告に移ります。

それでは初めに、教育長の報告をいたします。

それでは、1ページをご覧ください。

教育長行事報告です。

8月17日木曜日につきましては、委員の皆様もおられました総合教育会議がございました。

8月18日金曜日、8月22日火曜日の両日、インクルーシブ教育研修会を開催いたしました。対象は、学校の教職員及び社会教育課から社会教育委員さんも一部参加されて、インクルーシブ教育の研修会を行いました。このような研修会は初めてだったと思います。来られた講師は、ノートルダム清心女子大学でインクルーシブ教育の研究を深く進めておられます青山准教授でございます。青山准教授のほうから、インクルーシブ教育の入門という部分だと思います、それから実際の理論的なところプラス実績のところをお話していただきました。

8月23日からには議運等、8月24日、全国大会優勝報告会というのがありました。これは、磐梨中学校の柔道部の女子生徒さんが全国大会で優勝しましたので、その報告に市長室に来られました。

また、27日、28日の日曜日、月曜日につきましては、コロナ禍でなかなか運営も厳

しかった大会が徐々に復活しつつあり、青少年剣道大会、グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。28日の月曜日、グラウンド・ゴルフ大会については、大変暑い中でしたけれども、赤磐市にあるグラウンド・ゴルフ場を有効に利用して下さって、市内各所から大勢の方が参加をしてくださいました。主催者からは開催の結果などをいただきました。

8月30日から議会が始まっております。9月3日日曜日、障がい者の集いがございました。教育長が来賓として出席をさせていただきましたけれども、この赤磐市障がい者の集いは、非常に歴史のある集いではありますけれども、今回をもって終了するというアナウンスがございました。

9月の前半は、議会の一般質問等ありました。9月4日ぐらいからホッケーのカナダの代表チームが来日されました。東京でテストマッチ等も行った後、今度は岡山でもテストマッチをしていただきたいという要望がかない、9月5日、ホッケー男子カナダ代表、日本代表の国際親善試合が2日間にわたってありました。また、市民交流会もございました。市内の幼稚園、小学校、中学校をカナダ代表の選手たちや日本代表の選手たちが訪問し、一緒にホッケー教室をしたり、給食を食べたり、国際交流をしっかりとすることができました。試合に来ていただいてそれを見るだけじゃなくて、国際交流もしっかりできたものと思っております。

続きまして、9月8日ですが全国大会出場激励会がありました。これは、陸上の全国大会に出場する予定の、城南小学校の子どもの激励会を市長室で行いました。大会は既に終了しており、残念ながら予選のほうで敗退はしましたけれども、12秒台という好記録は出ており、最高のパフォーマンスはできたように聞いております。

9月13日水曜日、教委所属長会を開催し、9月までの進捗状況、それからこれからの事業の進め方について共通理解を図りました。

9月14日木曜日の出張ですが、これは、市長、教育長、未来が見える学校プロジェクトを進めている桜が丘中学校校長、随員の教育総務課長と一緒に神奈川に行かせていただきました。

行った場所は横浜創英中学校・高等学校です。この学校の工藤校長先生が、桜が丘中学校校長が学校経営を進めている、未来が見える学校プロジェクトの原点となった学校の校長先生です。工藤勇一先生が東京にある麴町中学校で実践され、今は退職されてこちらの校長をされており、先生のところにも実際にお話をお伺いに行き、桜が丘中学校ではこのような取組をしているのだけれども、今後どのように展開していったらいいだろうかという、

ご意見を伺いに行かせていただきました。

そのほか、工藤先生の取組等についてしっかりお話を伺うことができ、その中で、この工藤勇一先生が先生方に向けた研修会等もZ o o mでしていただけるという回答をいただきました。日時は未定ですが、工藤勇一先生の考えを保護者の方にも知っていただきたいということで、可能ならばいつの日にか岡山へ来て、講演をできたらということをおっしゃっていました。これまではコロナ禍でしたから、Z o o mで保護者向けの講演もされていたようなのですが、工藤勇一先生の熱量をみんなで感じていただきたいということで、ぜひ岡山に来てくださいと要請もさせていただきました。

基本的に、教職員研修は実現する方向で話を進めていきたいと思っています。これによって、桜が丘中学校の未来が見える学校プロジェクトをほかの学校に水平展開していくところ、それから小学校にも使えるところは使っていけたらと思っています。また、魅力ある学校づくりということで、仮称ではありますが、赤坂小学校を赤磐市教育委員会ではつくる方針にしております。そういった新たな小学校の中でも工藤勇一先生の実行、実践がいろいろ役に立つのではないかという思いから、直接工藤先生に会いに行かせていただきました。

9月19日には厚生文教常任委員会があり、いじめのことであったり、学校の再編等のことであったり、そういった質問等も出てまいりました。

9月20日、小学校長の間談が終わりました。その中で学力向上のことについては、一つ一つ各学校の実態に応じて教育長のほうからもアドバイスをさせていただきました。今後、校長のほうが残りの6か月の間に各学校の実態に応じた取組をしていただけたらと思っています。今後は、中学校、幼稚園の面談等も始まる予定になっております。

教育長の行事についての説明は以上です。

何かご質問ございませんか。

○山本委員 はい。

○坪井教育長 はい、山本委員。

○山本委員 インクルーシブ教育研修会があったということなのですが、言葉だけはよく聞くのですが、あまりインクルーシブ教育がどのようなものを理解していないような気がするのです。障がいのあるなしにかかわらず子どもを包括的に教育しましょうみたいな、漠然としたイメージしかないので、5分で分かるインクルーシブ教育ということで教えていただければありがたいと思ったのですが。

○坪井教育長 インクルーシブ教育というのは、今解釈が2通りあります。一つの解釈が、今委員がお話しされた障がいを持った子どもたちであったり、ジェンダーであったり、国籍であったり、そんないろいろな子どもたちが一つの土俵の上で、一緒に学んでいくというのがインクルーシブ教育といわれています。

文部科学省は、さらにこれに特別支援学校と、例えば山陽小学校が連携してやっていくのをインクルーシブ教育システムといいます。インクルーシブ教育というのは、今委員がおっしゃったとおりです。しかし、赤磐市が進めているインクルーシブ教育というのは、そういう狭義な意味ではなく、基本的にインクルーシブの概念は誰一人取り残さないという基本的なものがあるのです。

これは、ほかの言葉でイエナプランですね。イエナプランという教育システムをやっているところもあるので、いろいろな新しい欧米の教育システムが日本にどんどん入ってきていますが、その原点となるものがインクルーシブというものです。ほぼインクルーシブから派生したものが、テレビやマスコミで片仮名で何とか教育というものがあるのも、原点はインクルーシブ、誰一人取り残さないということなんです。

今度、魅力ある学校づくりで、今は赤坂をターゲットに進めていますけれども、赤坂の新しい学校において、このインクルーシブな学校運営を開発していくモデルです。誰もやったことがないインクルーシブな学校運営開発モデル校。例えば、今いろいろなところの学校で実践されている担任がいないとか、全員担任制とか、自由進度学習とか、学びがチョイスできる学習であったり、それから小・中連携も入っていますから、中学校の先生が小学校に来て体育の授業を教えたり数学の授業を教えたりするところもあると思います。

また、インクルーシブで誰一人取り残さないわけですから、地域も取り残さず、地域の方の地域教育力とか、地域の皆様の力、そういったところも新しい魅力ある学校には入れていこうと思っています。当然赤坂にインクルーシブ教育で狭い意味の部分もあります。いわゆる障がい者の方たちとともに、一緒に学んでいこう。

ただし、常に100%学んでいくのではなく、一緒に学んでいける部分は学んでいかなければいけない、個別に学んでいかなければいけないところは個別に学んでいかなければいけないけれども、でも概念はみんな一緒に伸びていこうねというふうな考え方で新しい赤坂小学校はつくりたいなと思っています。しかし、教育長からトップダウンで、こんなシステムでやっていきましょう、これを取り入れていきましょう、麴町中でやっていたからこれを取り入れていきますよというのではなくて、それぞれ地域の皆様のお知恵をお借りし

ながら、それは準備委員会が少しずつこれからやっていきますけど、準備委員会でご意見もお伺いして、決して教育委員会がこれやるぞと旗振りをするのではなくて、皆さんのご意見をお伺いしながら新しい学校を赤坂の皆さんとともにつくっていくというような感じ、これがインクルーシブな考え方、誰一人排除せず、取り残すことなく、皆さんのご意見を伺いながら合意形成を図っていくというところで新しい学校ができていったらなと思います。

まだまだ海のものとも山のものとも分からないかもしれませんが、本当にみんな赤坂の学校をつくっていこうと考えております。

○山本委員 ありがとうございます。

○坪井教育長 5分ほどしゃべりましたね。

○山本委員 分かりました。ありがとうございます。

○坪井教育長 すみません。

○山本委員 いえいえ。

○坪井教育長 ほかにございますか。

○大崎教育長職務代理者 はい。

○坪井教育長 はい、大崎委員。

○大崎教育長職務代理者 全国大会優勝ということで、今磐梨中学校の学校の校舎のところに、出場が決まりましたという幕があるのですが、その下のほうへ磐梨武道館と書いてあります。試合に出るのにクラブとかそういう武道館みたいな形で参加するのはオーケーだと聞いていたのですが、やはり全国大会もそういう形で出場できる。私が思ったのは、磐梨武道館になると、磐梨中学校以外の子も柔道を習いに来ている子がいると思うのですが、やはり磐梨武道館と書いていけば磐梨中学校以外の子も出場しているのかなと思って、その辺りがよく分からないのですが、どうなっていますか。

○坪井教育長 はい、学校教育課長。

○森本課長 はい、学校教育課森本です。

大崎委員がおっしゃったとおり、本年度からクラブチーム、中学校体育連盟の大会にはクラブチームとして参加することが可能になっていて、今回磐梨中の松本さんも、磐梨武道館所属という、クラブチームから出るという形になっております。ただ、クラブチームになると、こちらもどんなお子さんがそこへ所属しているかということまでは把握はできてないので、磐梨中学校以外の子がその武道館の中で出場したかどうかまでは把握はし

ていません。多分今後そういうことが、いろいろなクラブチームが出てくるかなと思います。

○大崎教育長職務代理者 本当なら、もう中学校は関係なしで、その磐梨武道館で出ている子が全国大会まで行ってというようなこともあり得るわけですね。

○森本課長 そうですね。複数の学校の子が登録しているクラブチームで全国大会ということもあり得ると思います。

○大崎教育長職務代理者 分かりました。

○坪井教育長 いいでしょうか。

○大崎教育長職務代理者 はい。多分野球にしても、今1つの中学校でチームが組めないようなところで合同のチームができていますから、結局その合同のチームが勝ち進んで全国大会へ行っても、その合同チームのまま出るようなことですね。

はい、ありがとうございました。

○坪井教育長 それでは、これでご意見ないということで、質疑なしと認めます。

次に、令和5年10月教育委員会行事予定についての報告を求めます。

○西崎課長 教育長。

○坪井教育長 教育総務課長。

○西崎課長 はい、教育総務課西崎です。

それでは、10月の教育委員会行事予定について説明をさせていただきます。

資料2ページ、3ページをお願いいたします。

令和5年10月の教育委員会行事予定につきまして、主立ったものを各所属から順次説明をさせていただきます。

まず、教育総務課からでございます。

10月4日、あかいわ創生会議を10時から、教育長の出席でございます。

10月9日、スポレクフェステ赤磐を9時から、教育長の出席。教育委員の皆様にもご案内をさせていただいておりますので、よろしくをお願いいたします。

10月10日、校園長会を14時から、教育長の出席でございます。

10月11日、教委所属長会を10時から、教育長の出席でございます。

10月13日、県教育長意見交換会を13時から、教育長のウェブ出席でございます。

10月16日、園長中間面談を13時30分から、教育長の出席でございます。

10月19日、学校訪問を9時から、教育委員協議会を14時から、教育委員定例会を



15時から、教育長、教育委員の皆様のお出席でございます。よろしくお願いいたします。

10月24日、教育長連絡会議、13時30分から、教育長の出席でございます。

10月26日、自治連合会全体会議を15時から、教育長の出席でございます。

教育総務課からは以上でございます。

○坪井教育長 はい。

○森本課長 はい。

○坪井教育長 学校教育課長。

○森本課長 はい、学校教育課森本です。

それでは、学校教育課の行事について説明させていただきます。

4日水曜日、市科学研究発表会が行われます。

7日土曜日でございますが、幼稚園、6園ありますが、運動会のほうを開催いたします。

それから、入力できておりませんでした。10日の火曜日に校園長会が行われます。これが、集まるのかZoomかどちらで開催するかまだ決定しておりませんが、2時から行われます。こちらの10日の火曜日の校園長会は、小・中の校長のみとさせていただきます。

14日土曜日に小・中の運動会、2校について運動会がございます。

16日月曜日に園長中間面談、中央公民館、13時30分から行います。

17日火曜日、市ミドルリーダー研修会、中央図書館で2時から開催いたします。

18日水曜日、赤磐市陸上記録会、環太平洋大学のグラウンドを使わせていただいております。

20日金曜日、こちらも入力できておりませんでした。幼稚園の園長会のみをこの日に行う予定としております。

25日水曜日に市研究指定校公開授業ということで、山陽東小学校で午後行われます。

31日火曜日に教育支援委員会第2回がございます。中央図書館で13時30分から開催予定です。

以上です。

○坪井教育長 続きまして、社会教育課、公民館行きましょうか。

○大月課長 はい。

○坪井教育長 はい、お願いします。

○大月課長 はい、社会教育課大月でございます。

では、社会教育課と公民館と併せて説明をさせていただきます。

社会教育課ですが、先ほどのご報告いたしました9日、スポレクフェステ赤磐、山陽ふれあい公園にて9時から開催の予定でございます。

12日木曜日、永瀬清子選考委員会、熊山公民館にて13時30分から。

13日金曜日は、現代詩講座「詩のピクニック」、こちらは熊山公民館で13時30分から開催予定でございます。

21日土曜日、こちらがACP体験会、アクティブチャイルドプログラムということで、熊山運動公園で開催予定でございます。対象者は未就学児と保護者ということで、これから募集をかける予定にしております。

山陽郷土資料館で企画展を12月10日まで開催予定となっております。

27日金曜日には永瀬清子専門部会、熊山公民館で13時30分から予定しております。

それから、社会教育課の直営の事業ではないですが、山本委員が今いつも気にかけてくださっていますグローバル人材育成研修、こちらを10月24日火曜日、吉井中学校にて開催の予定と聞いております。対象は全学年対象で、9時から11時半まで。広島県福山市在住のトライアスロンの福元哲郎選手をお呼びして講演を開くという予定と聞いております。

それから、公民館でございます。

中央公民館におきましては1日日曜日、中高生の地域活性化事業、それから14日土曜日はものづくりワークショップ、15日日曜日はあかいわふるさと探検隊、赤坂公民館におきましては4日水曜日、余りがちの調味料を使った旬の食材クッキング、山陽公民館におきましては23日月曜日に防災講座、それから高月公民館と吉井公民館では公民館まつりをそれぞれ開催予定となっております。高月公民館は1日日曜日、吉井公民館につきましては28日と29日となっております。

以上です。

○坪井教育長 ありがとうございます。

次、図書館長。

○森本館長 はい、中央図書館森本です。

10月の予定です。

6日の金曜から3日間、金土日とリサイクルブックフェアを予定しております。

それから、14日の土曜日、読書の秋だよ！おはなしかいということで、大きめのお話し会を予定しております。

それから、映画会が2本、15日が吉井図書館で「異動辞令は音楽隊！」の上映を予定しております。21日の土曜が中央図書館で「海の上のピアニスト」。

22日の日曜日に木喰仏の講座を予定しております。

それから、26日の木曜がブックスタート事業で、赤ちゃんに初回の健診時に絵本を配布する事業を予定しております。

27日からは、これは1か月間のイベントですが、赤坂図書館、熊山図書館、吉井図書館で「としょかん おたのしみくじ」という読書週間イベントとして1か月予定しております。

以上です。

○坪井教育長 ありがとうございます。

それでは、給食センター長。

○矢部所長 はい、中央学校給食センター矢部です。

給食センターの行事としましては、3日火曜日に栄養士会を開催いたします。東学校給食センターです。

以上です。

○坪井教育長 ありがとうございます。

それでは、10月の教育委員会行事予定につきまして質疑、ご意見はありませんか。

○山本委員 はい。

○坪井教育長 山本委員。

○山本委員 吉井中学校でグローバル人材育成の研修をやってくださいなのですが、赤中でやるかやらないかって話があったんです。あれはどうなったか分かりますか。

○大月課長 教育長。

○坪井教育長 はい、社会教育課長。

○大月課長 はい、社会教育課大月でございます。

赤坂中学校につきましては、まだ何も連絡が今のところはいっておりません。

○山本委員 そうですか。

○大月課長 はい。

○山本委員 ないんですね。

○大月課長 はい。ただ、2月でしたか、立志の関係で。

○山本委員 立志の。

○大月課長 はい、立志式をする予定が。それに合わせてということは聞いております。多分その時期になるかと思います。

○山本委員 分かりました。私が行かせてもらってもいいですよ。事前に学校に連絡をしていっていただければ。聞いてみます。

○坪井教育長 そのほかございませんか、行事予定。

○大崎教育長職務代理者 はい。

○坪井教育長 はい、大崎委員。

○大崎教育長職務代理者 公民館の21日土曜日の中学生盆踊りプロジェクトということで、これは来年度の盆踊りを復活させるということですよ。

○大月課長 はい。

○坪井教育長 はい、中央公民館長。

○大月館長 はい、中央公民館大月でございます。

こちらにつきましては、そうなんなのですが中止になっています。中学校の合唱祭で披露する予定だったのですが、時間の都合で披露ができないということで、中止になっております。申し訳ございません。11月になります。公民館まつりと図書館まつりでそれぞれ披露させていただく予定にはなっております。

○大崎教育長職務代理者 公民館まつりでいうことですか。

○大月課長 そうです、はい。

○坪井教育長 よろしいですか。

○大崎教育長職務代理者 はい。

○坪井教育長 そのほかございますか。

すみません、1件、学校教育課の10月18日に赤磐市陸上記録会、I P Uと書いてありますが、名称が今年から変わっていると思います。早く言っておけばよかったのですが、陸上教室に変わっていたと思います。

ほかにごございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○坪井教育長 それでは、ほかにご意見ないようなので、これで質疑なしと認めます。

続いて、（２）その他の案件に移ります。

特にその他よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○坪井教育長 では、他にないようでしたら、次回の定例会開催日について事務局からお願いします。

○西崎課長 教育長。

○坪井教育長 はい、総務課長。

○西崎課長 はい、教育総務課西崎です。

それでは、次回定例会開催日について説明をさせていただきます。

今回は、10月19日木曜日午後3時からとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○坪井教育長 それでは、次回の定例会開催日は、令和5年10月19日、一応定例会は午後3時からとなりますので、ご参集ください。

それでは、以上をもちまして本会に付議されたすべての案件は終了となりました。

これをもちまして令和5年度第6回赤磐市教育委員会定例会を閉会とします。

お疲れさまでした。ご散会ください。